



2/14 地元食材を堪能
上中1年調理実習

2月13、14日、上士幌中学校1年生を対象に、十勝フードデザイン研究所代表工藤一幸氏を招き、調理実習が開催されました。当日はナイタイ和牛ロース肉の酒蒸しステーキ、鶏ひき肉と金時豆のスパイシーピラフなど地元食材を使用した4品を作りました。生徒からは「ナイタイ和牛がとても柔らかくておいしかった。ステーキを食べるのは初めてなので、食べられてうれしい」などの感想が聞かれました。

3/2 上士幌町建設業協会
60周年記念協賛金贈呈式

3月21日に予定されていた、第13回ジョイントコンサートへの協賛金の授与式が行われ、上士幌町建設業協会より30万円の協賛金が贈呈されました。コンサートは中止となってしまいましたが、協賛金は当日着用予定だったポロシャツ、ポスター、看板などの購入費用に充てられます。建設業協会川村文雄会長からは「開催中止となってしまったのは非常に残念。今後も何らかの形で協力していきたい」とお話しいただきました。



地域を変えていく新しい力
地域おこし協力隊活動報告

TITLE:こどもとスポーツ

記:健康運動推進員 酒向 光弘



気が付けば、かみしほろに来て2年が経とうとしています。昨年度2月末には小学校低学年向けの体験会も行いました。

「なんでできないんだ」と少年団や部活動で耳にします。過去には体罰が当たり前の時代もありました。指導者の皆さんや保護者の方々は熱が入ってしまうが故の対応だと思います。ですが、実際スポーツでいえば、プロ野球選手の打率は3割でもいいほう、バスケット選手もシュート率は40%ほど。こどもができないのもうなずけます。

現代はとても失敗しにくい環境です。効率のいい“正解”を教えられます。“正解”から外れると怒られません。ですが、プロでさえ前述の成功率ですから、本来は成功したらラッキーぐらいの感覚でいいのかもしれない。

2020年は東京オリンピックも予定されており、スポーツに触れる機会も多いと思います。こどもだけでなく大人も一緒になって遊ぶことが非常に重要なのではと思います。

協力隊としては残り1年になりましたが、運動指導するものとして携わっていききたいものです。



2・3月の
まちなわだい

3月13日、上士幌中学校で卒業式が行われました。残念ながら新型コロナウイルス感染拡大防止のため規模を縮小し、全員マスク着用での開催となりました。

令和元年度 上士幌町文化賞・スポーツ賞等表彰

『令和元年度上士幌町文化賞・スポーツ賞等表彰受賞者』が決定しました。本町の文化の向上やスポーツの振興に功績のあった6団体、35個人が各賞を受賞されました。

文化賞・スポーツ賞等 各賞受賞者 (敬称略)

- ✳文化賞《個人》
村上 力/大野 隆斗/内海 森羅
前田 紫帆
岡田 壮太
- ✳文化奨励賞《団体》
上士幌町老人写真サークル 柏の会
- ✳少年文化奨励賞《個人》
吉田 芽琉/中村 桜介/伊東 海里
杉井 蒼空/矢戸 晴菜/荒木 花萌
森下 乃那/有賀 和夏/齊藤 寧々
岡田 彩音/清水 琴葉
- ✳少年スポーツ努力賞《個人》
大石 悠真/鈴江 菜都/小柳 瑠真
菊池 逢里/田中 慶志/高森 大樹
岡田 彩音/飯島 優花/五十嵐 舞桜
- ✳少年スポーツ努力賞《団体》
✧上士幌町サッカー少年団
齊藤 慎吾/森本 悠太/吉田 幸雅
鈴木 楼/松下 治樹/林 大祐
森田 凌介/津守 航/糸島 未羽
佐々木 里桜/黒沼 蓮/村上 唯衣
千年 咲煌也/坂本 悠馬/鈴木 篤
- ✳スポーツ賞《功労》
服部 進
- ✳少年スポーツ賞《個人》
福澤 芯之助/森田 晴水
- ✳少年スポーツ奨励賞《個人》
千年 澄春/石井 菜々華/石井 愛菜
石川 優和/石川 詩月/有坂 優宏
菅原 杏樹/坪井 早弥香/大野 隆斗
山崎 航誠/千年 颯太
- ✳少年スポーツ奨励賞《団体》
✧上士幌中学校女子バスケットボール部
大江 花凜/星 夏海/菅原 一紗
市川 恋聖/町田 寧々/齊藤 真葵
高森 茉穂
- ✧上士幌中学校男子卓球部
山崎 航誠/有坂 優宏/伊藤 杏廉
千年 颯太/西尾 颯/星海 翔
- ✧上士幌中学校女子卓球部
杉山 詩歩/中村 董/飯島 優花
鈴木 彩華/清水 琴葉/鳥本 花奈
坪井 早弥香/岡田 彩音/菅原 杏樹
西垣 望/石川 桜来/兼子 胡桃
清水 優唯/黒沼 紗千
- ✧上士幌中学校サッカー一部
糸島 世蓮/伊藤 迅風/川村 優斗
清水 遥斗/高井 悠陽/布谷 尚暉
吉澤 優人/吉田 優雅/高杉 梨乃
佐々木 はるか/佐藤 光/鈴木 陽和
村上 凌駕/八下田 一生/安藤 颯斗
加賀屋 昊希/細木 琉可/森田 陽樹

川柳

雪降りに孫とおでかけやさしき買う

李大喜代子

短歌

遠くよりいつも見てるし君の家けふ用ありて近くまで来し
 トラ猫が眼鏡かけたるポンチ絵に睨まれ今日も正后を過ぎるつ
 その機微を今し静かに振り返る棋士の視線を見守りたり
 ガウディの謎をときつつ世紀過ぐ仰ぎ見たしよクラダファミリア
 手打ちそば食べるほどに美味しくてそば湯の味は甘酒に似る
 マスクしてわっかの清掃今日もするコロナ・ウイルス早く去れよと
 病院に入院したる五十日検査はつづき長くなりたり
 早おきしストーブの薪に火を付ける暖かき部屋で食事をしたり
 目に見えぬコロナ・ウイルスの恐しさ感染者の増えしに驚く日々
 通学の子等の姿の消へし道ひよどりの声高く響きて

石松小鈴高米尾 本
 川田松木木森野 間
 裕理義誠真よし 乗
 子恵美豊也弓 風

(正) 李大喜代子
 (誤) 李大喜代子

●広報3月号の28ページ「町民文芸」において李大喜代子様のお名前が誤りがありました。正しくは次のとおりです。訂正し、お詫びいたします。

お詫びと訂正

令和2年 2 月末現在の人口

男性	2,438人(+10人)
女性	2,533人(+1人)
人口	4,971人(+11人)
世帯数	2,568世帯(+11世帯)

令和元年度ふるさと納税寄付金

2 月分	1,092 件 20,848,790 円
累計	83,651 件 1,498,498,790 円

※全国より本町に篤志寄付の応援をしていただき心より感謝を申し上げます。
 ※3月16日現在

上士幌町民憲章

- 心もからだもきたえ、すこやかな人になりましょう。
- おたがいに立場を理解しあい、楽しい家庭をつくりましょう。
- きまりを正しく守り、明るい社会をつくりましょう。
- 自然を愛し、美しく住みよいまちにそだてましょう。
- 文化をたかめ、豊かな郷土を築きましょう。

広報がみしほろ 5月号は4月24日(金) 発行予定

令和元年度「上高たより」

上士幌高校です!

文責: 教頭

No. 24
 令和2年
 3月25日

TITLE: コロナウイルスの脅威はいつまで?

現在、日本、世界中が、新型コロナウイルスという目に見えないウイルスに脅威を感じています。私は専門家でないため全く分かりませんが、感染力が非常に強いのではないのかと感じています。特に持病がある高齢者の方などが亡くなっており、大変深刻な事態になってきていると感じます。北海道は大丈夫だと思っていたのも束の間、あっという間に十勝でも感染者が確認され、もう何処で誰が感染してもおかしくないという状況になってしまいました。2月28日夕方には鈴木北海道知事が「北海道緊急事態宣言」を発表。深刻さがより増したと感じました。

ご存じのとおり感染拡大を防ぐために学校が臨時休校となり、さまざまところで問題が湧き出ております。本校では、卒業式という大事な大事な行事が中止となり、晴れの門出を祝うことができなくなり、卒業担任の先生は、言葉では言い表せない悲痛な表情をしておりました。とにかく、早く終息することを祈るばかりです。



△本来ならここに晴れやかな顔が並ぶはずでした



△在校生が工夫した教室の飾りです

上士幌高校新聞局通信

月刊 上高

できなかった卒業式、そして今

文責 木村 彩夏

2月28日に在校生のみで卒業式の装飾等を行った。この時点で私たちは1日の卒業式に参加できないことが分っていたので、みんな力を入れていた。ただし1時間程度しかなかった

ので執行部が一番焦っていたが、臨機応変に対応でき、なんとか時間内に準備が終わって良かったとその時は思っていた。

その日の夜に卒業式の中止が決まった。代読を頼んでいた送辞は幻となってしまっただけでやるせない気持ちでいっぱいだった。コロナウイルスはここまで影響が出てくるのかと危機感を持った。

上士幌高校は24日までの休校が決まったが、急に休みに入ってしまうと何をやっていいのかわからなくなる。これを書いている時点では毎日無駄に過ごしている気がする。今後は計画を建て、勉強もやっていきたい。ほかの人たちも間違っても遊びに歩いたりカラオケに行かないでほしい。今なぜ休校なのかしっかり考えて、普段はなかなかできない家の手伝いなどをしてほしい。



△2Aが担当した3A教室の黒板



△2Bが担当した3B教室の黒板